

イーストスプリング インド投資マンスリー

2023年4月号

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号

加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。

最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&Gの子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

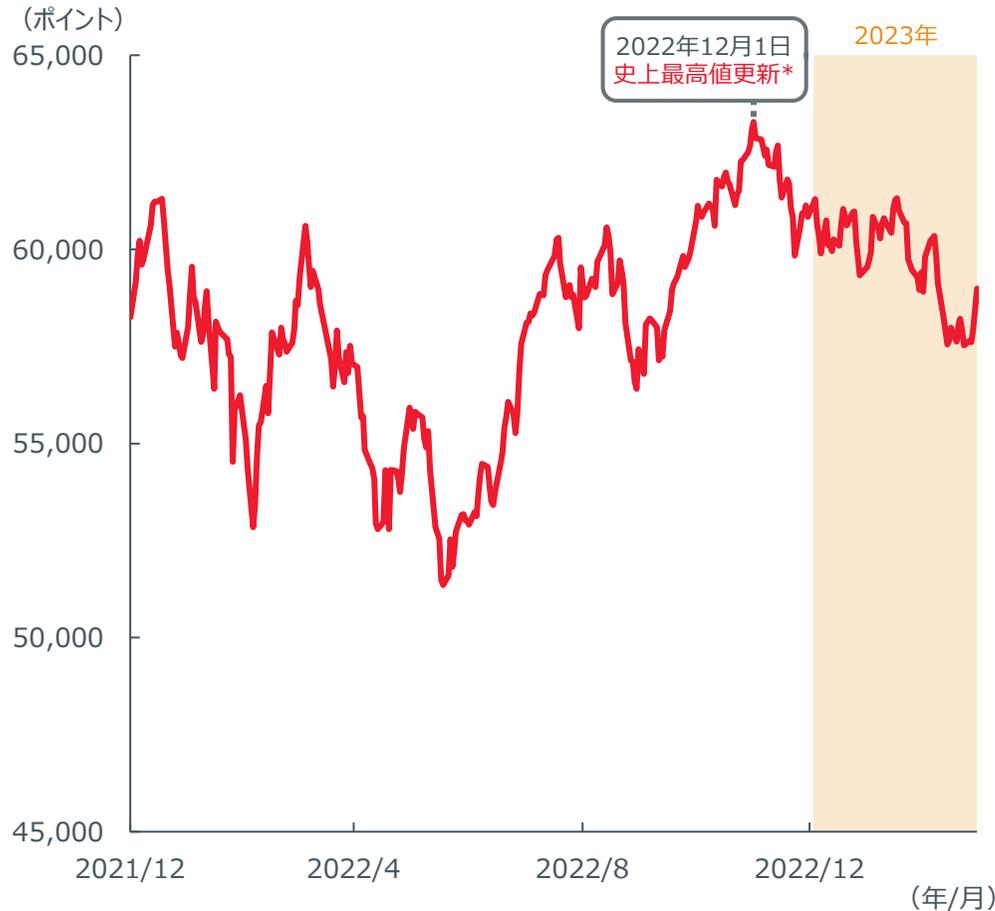
この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

インド投資マンスリー
動画配信中！



株式：3か月連続の下落から下げ止まりの兆し、前月比横ばい

SENSEX指数の推移 (2021年12月末～2023年3月末、日次)



2023年3月の振り返り

インド株式 (SENSEX指数) は、前月比横ばいとなり、3か月連続の下落から下げ止まりの兆しが見られました。中旬にかけては、米欧の金融システム不安が高まり下落したものの、月末にかけて過度な不安が後退し反発したことなどが要因です。また、米国を拠点とする資産運用会社が、不正疑惑を指摘され株価が大幅に下落していたインドの新興財閥アダニ・グループの株式を大量に購入したことも、市場のセンチメントを後押ししました。

セクター別では、公益事業が大幅にアウトパフォームし、資本財、生活必需品が続きました。一方、情報技術はアンダーパフォームしました。

売買動向では、国内機関投資家、海外機関投資家ともに買い越しました。

規模別指数の期間別騰落率 (2023年3月末時点)

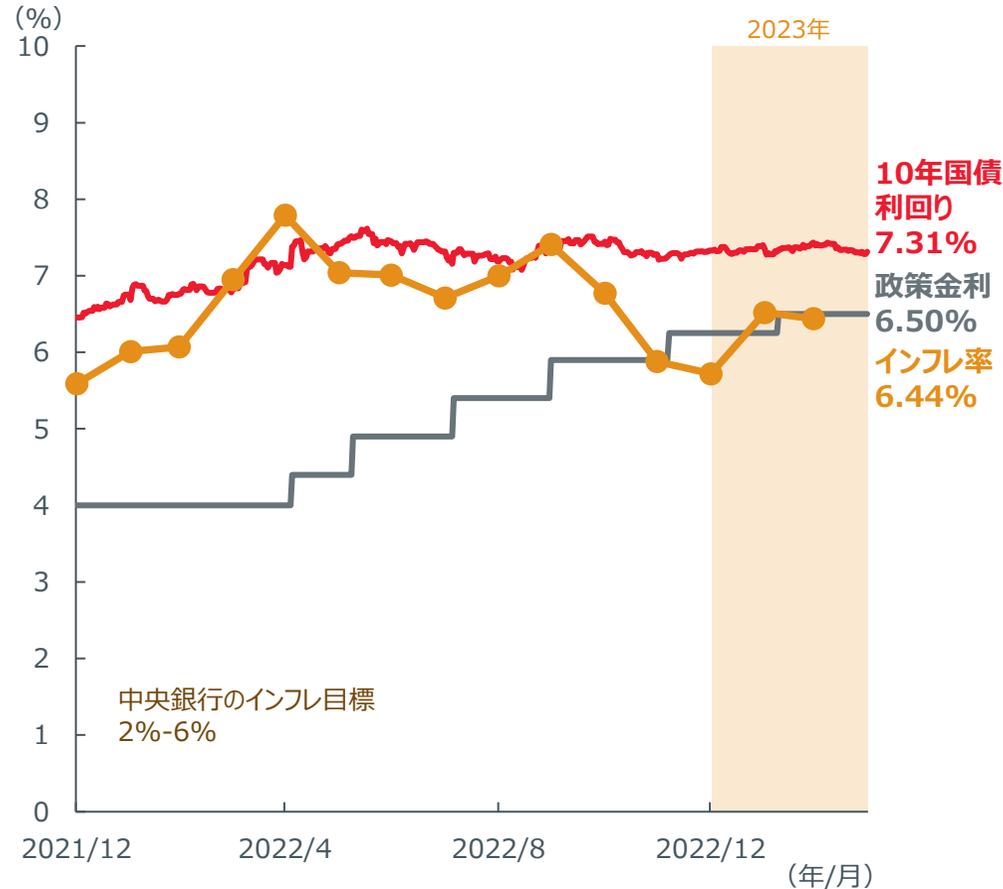
	1か月間	3か月間	6か月間
大型株 (SENSEX指数)	0.0%	-3.0%	2.7%
中型株 (BSE中型株指数)	-0.4%	-4.9%	-3.2%
小型株 (BSE小型株指数)	-1.4%	-6.8%	-5.3%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※全てプライス・リターン、インドルピーベース。*終値ベース。

債券：インフレ率、10年国債利回りは低下

政策金利*、インフレ率**、10年国債利回りの推移

(2021年12月末～2023年3月末、日次)



2023年3月の振り返り

10年国債利回りは低下（価格は上昇）し、7.31%で月を終えました。

FRB（米連邦準備制度理事会）が0.25%の利上げを決定するとともに、声明文が一部修正され、利上げが近く一時停止する可能性があることを示唆したことがインド国債の利回り低下につながりました。

13日発表の2月のインフレ率は、前年同月比+6.44%と前月から低下したものの、RBIの目標上限である6%を2カ月連続で上回りました。

債券利回りと利回り差の変化幅

	2023年3月末	2023年2月末	変化幅
10年国債利回り	7.31%	7.43%	-0.12%
10年社債利回り***	7.82%	7.93%	-0.10%
利回り差	0.51%	0.50%	0.02%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*レボ金利、**消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。新基準（2012年=100）による統計を使用。2023年2月まで。

***10年社債利回りはBloomberg FIMMDA India Corporate Bond Curve AAA Year Corporateの利回りを使用。

利回り差等については四捨五入の関係で数値間で整合しない場合があります。

為替：ルピーは対米ドルで上昇、対円では下落

- 3月のルピーは、対米ドルで0.6%の上昇、対円では1.9%の下落となりました。
- 2020年以降のルピーの動きをみると、他の新興国通貨と比べて対米ドルで相対的に安定した推移となっています。

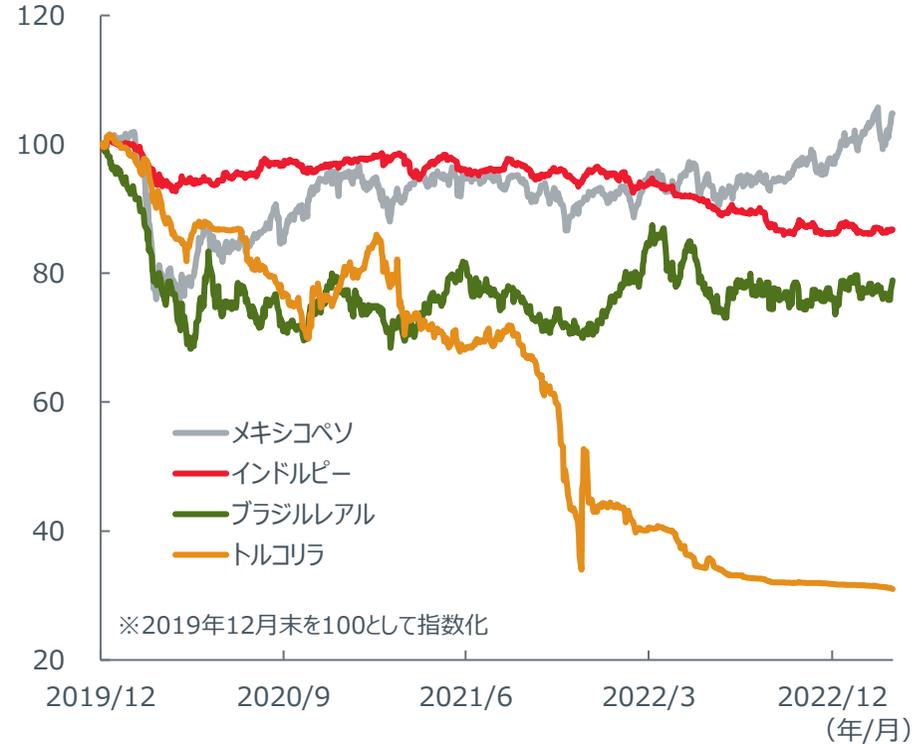
ルピー（対米ドル、対円）の推移

(2021年12月末～2023年3月末、日次)



主要新興国通貨（対米ドル）の推移

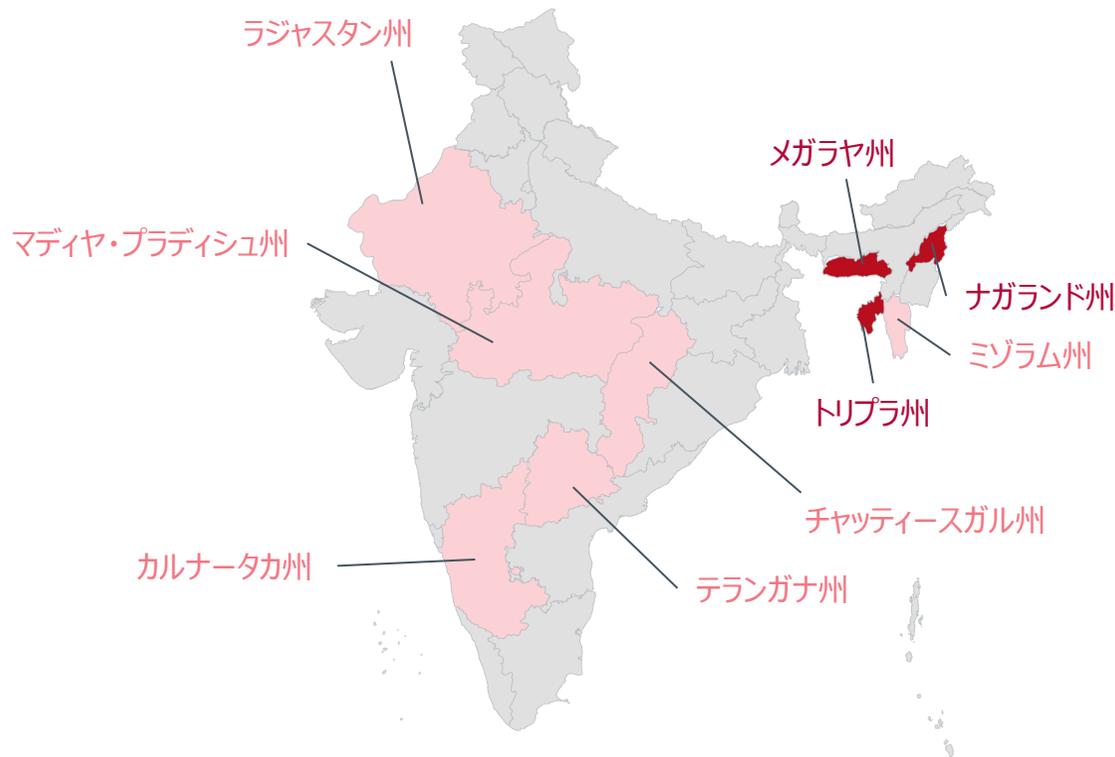
(2019年12月末～2023年3月末、日次)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

インド北東部3州で議会選挙実施、与党インド人民党が勝利

- インド北東部のトリプラ州、ナガランド州、メガラヤ州で2月に議会選挙が実施され、3月2日に開票されました。モディ首相が率いる与党のインド人民党（BJP）を含む連立与党が、3州全てで勢力を維持しました。2022年12月には、モディ首相の出身地でもあるグジャラート州で議会選挙が行われており、事前予想を上回る大勝を収めています。
- 2024年には任期満了に伴う下院総選挙が行われます。その前哨戦となる議会選挙が今回の北東部3州のほか、今年1年を通じて以下6州で行われる予定で、その動向に注目が集まります。



今後の地方選挙の日程（予定）

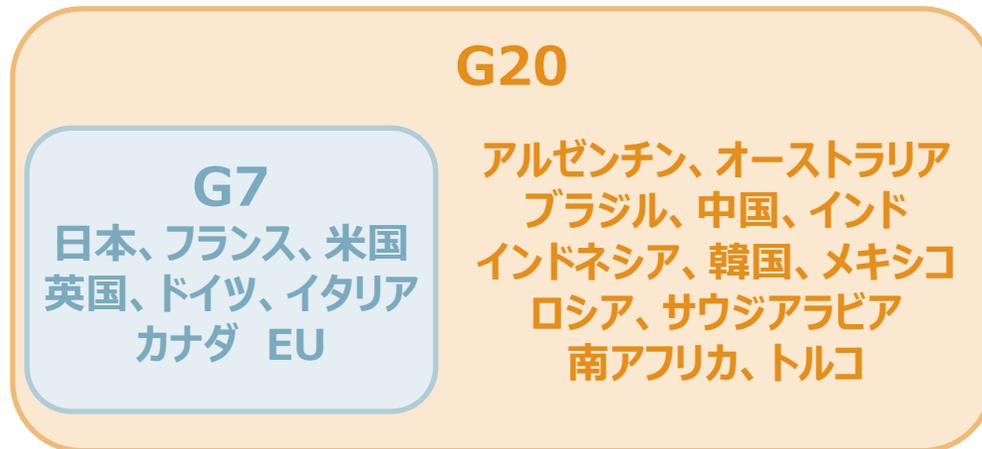
時期	州
2023年5月	カルナータカ
11月	チャットティースガル
11月	ミゾラム
11月	マディヤ・プラディシュ
12月	テランガナ
12月	ラジャスタン
終了	トリプラ州
終了	ナガランド州
終了	メガラヤ州

出所：ジェットロ、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

モディ首相G7サミット出席の意向

- 岸田首相は、3月19日から3日間の日程でインドを訪問し、モディ首相との会談を行いました。そこでは、3,000億円規模の高速鉄道建設事業に係る円借款の署名などが行われました。また、2023年は、G7の議長国が日本、G20の議長国がインドであることから、連携を深めるべく、インドをG7サミットへ招待、参加で合意しています。インドは「グローバルサウスの声サミット」を主催するなど、グローバルサウスの盟主を目指しており、そのインドとどのように連携を深化することができるのか注目されます。

G7とG20の構成



Point

グローバルサウスとは、南半球を中心としたアジアやアフリカなどの新興国・途上国の総称です。
インドは2023年1月にオンラインで「グローバルサウスの声サミット」を開催し、125か国の代表者が参加しました。

日本で開催されたG7サミット

開催年	開催地	当時の首相
1979	東京	大平正芳
1986	東京	中曽根康弘
1993	東京	宮沢喜一
2000	九州・沖縄	森喜朗
2008	北海道洞爺湖	福田康夫
2016	伊勢・志摩	安倍晋三
2023	広島	岸田文雄

出所：首相官邸、経済産業省、外務省、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

インド映画初の快挙！アカデミー賞「歌曲賞」を受賞

- 3月に米国ロサンゼルスで行われたアカデミー賞授賞式で、インド映画「RRR」の挿入歌「ナートゥ・ナートゥ」が歌曲賞を受賞、インド映画初の快挙となりました。（「ナートゥ」はインド南部で多くつかわれるテルグ語で「その土地由来の」「素朴な」「田舎の」などを意味します。）
- インドは、映画制作本数が年間で約2,000本（2016年時点）と本数だけで言えばハリウッドを大きく引き離して世界一の映画大国です。歌って踊るダンスシーンが多く取り入れられていることがインド映画の特徴で、他民族・多言語国家であることから、言語に頼らない表現方法としてダンスが取り入れられたとも言われています。

映画鑑賞は娯楽の主流

- インドでは、もともとスポーツ観戦など娯楽の選択肢が限られていることから、劇場での映画鑑賞が娯楽の主流で、スクリーン数は11,030と日本のスクリーン数の約3倍、有料観客数は年間で約18億人となっています（2022年時点）。
- コロナ後の経済活動の再開とともに、人々がそれまで楽しみにしていた映画館に通うという光景がムンバイでも復活しているようです。

インドの映画館



(イノックス・レジャー社提供)



インド映画の制作中心地であるムンバイの俗称を「ボリウッド」といいます。ムンバイの旧称「ボンベイ」の「ボ」と、米国映画産業の中心地「ハリウッド」を組み合わせつけてられました。

出所：外務省、Euromonitor International、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

※ MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※ 業種区分は、原則としてMSCI/S&P GICSに準じています。GICSに関しての知的財産権は、MSCI Inc.およびS&Pにあります。